「新しい生活様式」における私のステイホーム

昭和大学学生部長
上條　竜太郎

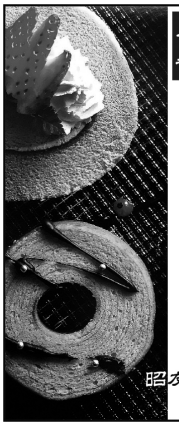
コロナウイルスの感染拡大は、世界中の人々の暮らしと仕事の全体を大きく変えています。その変化はどこまで広がるのか、収束はいつなのか、元の世界に戻るのか、それとも後戻りできず新しい社会が始まるのか、はっきりとしたことは誰にもわからない中、私達はステイホーム(stay home)を求められてきました。1都3県による「いのちを守るSTAY HOME週間」は、5月6日に政府が緊急事態宣言を解除したことを受けて終了しましたが、新型コロナウイルスが依然として感染拡大の脅威を残しており、ステイホームを推奨する潮流そのものは消えずに続いています。本学学生の日常も、ステイホームによりさまざまな影響を受けています。

本来、大学生は人生の中で最も素晴らしい時期にいます。この時代の友人や知り合いは一生の宝です。勉学はもちろんのこと、クラブ活動やボランティア活動などにも積極的に取り組むべきですが、ステイホームが推奨される現在、学生がこれらの活動に対面で参加することは困難です。加えて、今年度は旗ケ岡祭をはじめとする行事の開催を見送らせていただきました。やむを得ないこととはいえ、学生には申し訳なく思います。

このような環境下、学生はオンラインツールを駆使してお互いの連絡を密にして、新たな環境に積極的に取り組んでいるようです。例えば、仲間と学内で行っていたトレーニングをZoomなどのWeb会議アプリを通して仲間と同時に自宅で行い、お互いのやり方を指摘し合うことで、仲間と楽しく運動ができるようです。

オンライン授業による在宅時間が増えれば、「リモート化」が日常で定着することが予想されます。学生がコミュニケーション方法を工夫して連携を保ち、学生生活を人生最良の時間とすることを願っています。今後、実際の医療現場でもオンライン診療が定着する可能性も鑑み、リモートでのコミュニケーションには学生のうちから慣れることが必須なのかもしれません。

そして、1日の生活リズムの維持管理も重要です。私も学生時代は、特に長期休暇期間では、放っておくと深夜に就寝して昼過ぎに起きる生活を過ごしていました。現在、本学の学生は実習で登校する日もありますので、昼夜逆転のような事態になることは多くないかもしれませんが、これまでの毎日登校する習慣とは全く違う生活様式になっています。そこで、私たち教育職員、特に指導担任、時としては就学支援の先生方は、担当の学生がどのような生活様式になっているか、きめ細やかな観察と指導をお願いできればと思います。医療従事者を志す本学の学生にとって、基本的には朝起きて働き、夜は休むという生活様式が好ましいのだと思います。将来従事する医療現場に慣れる準備としても朝型の生活を身につけてほしいと切に願っています。


カタログギフト
手配いたします
旅行
食事券
体験型
スイーツ
和牛専門
など
のし・包装も
お任せ
昭友商事株式会社
3784-8280

新型コロナウイルス対応PCRセンター検査数が10,000件を超える

昭和大学新型コロナウイルス対応PCRセンターの検体検査数が9月2日時点で、10,000件を超えた。

同センターは本学各附属病院における新型コロナウイルスの感染を判定する目的で5月22日から稼働し、6月2日には品川区保健所から衛生検査所として認可された。本学旗の台キャンパスに設置され、木内祐二センター長のもと、薬理科学研究センター、遺伝子組換え実験室、医・歯・薬学部微生物系講座が主導し、主に50名以上の基礎系教育職員および臨床検査技師の全面的な協力により、円滑に運用されている。

PCR検査の対象は、附属8病院の発熱外来受診者、入院および入院予定の患者、体調不良の職員・学生、富士吉田入寮前の学生および職員のスクリーニング検査なども加わり、1日あたり最大で200検体以上に対応している。

学内で数時間以内に迅速に結果(陽性・陰性)を判定することができる同センターは、本学の新型コロナウイルス感染管理対策を担う存在となっている。

検査の様子

PCR検査従事者一覧（6月1日～8月31日）

医学部	生理学講座生体制御学部門	安達	直樹
医学部	微生物学免疫学講座	石川	裕樹
医学部	微生物学免疫学講座	伊與田雅之	
医学部	薬理学講座医科薬理学部門	岩瀬万里子	
医学部	薬理学講座医科薬理学部門	宇髙	結子
医学部	薬理学講座医科薬理学部門	海野	真一
医学部	内科学講座 呼吸器アレルギー内科学部門	大森	亨
医学部	生化学講座	金山	朱里
医学部	生理学講座生体調節機能学部門	上條翔太郎	
医学部	薬理学講座医科薬理学部門	木内	祐二
医学部	薬理学講座医科薬理学部門	佐々木晶子	
医学部	薬理学講座臨床薬理学部門	三邉	武彦
医学部	解剖学講座顕微解剖学部門	大滝	博和
医学部	生化学講座	宮崎	拓郎
歯学部	歯科薬理学講座	畔津	佑季
歯学部	歯周病学講座	今井	裕子
歯学部	歯科補綴学講座	浦野	絵里
歯学部	スペシャルニーズ口腔医学講座 障がい者歯科学部門	嘉手納未季	
歯学部	口腔微生物学講座	桑田	啓貴
歯学部	歯科薬理学講座	坂井	信裕
歯学部	インプラント歯科学講座	酒井隆太郎	
歯学部	口腔生化学講座	須澤	徹夫
歯学部	歯科薬理学講座	髙見	正道
歯学部	口腔病態診断科学講座 口腔病理学部門	田中	準一
歯学部	歯科薬理学講座	茶谷	昌宏
歯学部	口腔外科学講座 顎顔面口腔外科学部門	椋代	義樹
歯学部	口腔生理学講座	望月	文子
歯学部	口腔微生物学講座	森崎	弘史
薬学部	臨床薬学講座感染制御薬学部門	石野	敬子
薬学部	基礎薬学講座生物化学部門	板部	洋之
薬学部	社会健康薬学講座 医薬品評価薬学部門	亀井	大輔
薬学部	基礎薬学講座生体分析化学部門	唐沢	浩二
薬学部	社会健康薬学講座衛生薬学部門	桑田	浩
薬学部	基礎医療薬学講座薬理学部門	古林	創史
薬学部	基礎医療薬学講座薬剤学部門	齊藤	清美
薬学部	社会健康薬学講座衛生薬学部門	佐々木由香	
薬学部	基礎薬学講座生物化学部門	澤田	直子
薬学部	基礎医療薬学講座薬理学部門	柴田	佳太
薬学部	臨床薬学講座 がんゲノム医療薬学部門	竹島	功高
薬学部	臨床薬学講座薬物治療学部門	竹中	美貴
薬学部	基礎医療薬学講座 薬物動態学部門	田島	正教
薬学部	社会健康薬学講座衛生薬学部門	中谷	良人
薬学部	基礎医療薬学講座毒物学部門	沼澤	聡
薬学部	基礎薬学講座 腫瘍細胞生物学部門	日暮	大渡
薬学部	基礎医療薬学講座薬剤学部門	藤田	吉明
薬学部	基礎薬学講座生体分析化学部門	松林	智子
薬学部	基礎医療薬学講座薬剤学部門	村山	信浩
薬学部	社会健康薬学講座衛生薬学部門	依田恵美子	
保健医療学部	作業療法学科	古賀	誠
富士吉田教育部		荒田	悟
富士吉田教育部		倉田	知光
富士吉田教育部		佐野	佳弘
富士吉田教育部		剣持	幸代
富士吉田教育部		久光	隆
富士吉田教育部		前田	昌子
保健管理センター		田中	大介
薬理科学研究センター		小山田英人	
遺伝子組換え実験室		石川	文博
遺伝子組換え実験室		橋本	光正
先端がん治療研究所		今村	知世
先端がん治療研究所		山岡	利光
先端がん治療研究所		吉田	玲子
昭和大学病院　検査室			
江東豊洲病院　臨床病理検査部			

※　学部別50音順　敬称略

附属病院看護業績賞 2件の業績が表彰

令和元年度附属病院看護業績賞表彰式が8月7日、旗の台キャンパスで執り行われた。例年は春に執り行われる同式も新型コロナウイルス禍による延期を経て今回の開催となった。

同賞は業績、人物、ともに優秀と認められた看護職員に授与される。令和元年度は2件の業績が認められ表彰となり、小口勝司理事長より一人ひとりに楯が手渡された。

業績内容等は次のとおり。

施設名：藤が丘病院
受賞者：看護部
業績内容：人事管理・労務管理および人材育成における適応困難事例への取組み

施設名：昭和大学病院
受賞者：井出 由美（係長／専門看護師）
業績内容：NICUにおける新人看護師の基本看護技術項目の獲得状況に関する実態

昭和大学サポート寄付制度にご協力いただいた方

教育研究協力資金への寄付
【父　母】吉田　勝哉 様 / 妹尾　和己 様(医学部・52回生)

昭和大学病院への寄付
【一　般】東京都騎手会 様 / 橋本　理恵 様

昭和大学横浜市北部病院への寄付
【一　般】都筑区歯科医師会 様

昭和大学江東豊洲病院への寄付
【一　般】鈴木　譲信 様 / 東京江東中央ライオネスクラブ 様

各クラブ・学生会への寄付
【同　窓】桜井　洋 様(医学部・41回生)

上條記念館建設への寄付
【一　般】株式会社日本設計 様

新型コロナウイルス禍学生支援への寄付
【同　窓】小田中　友紀 様(薬学部・27回生) / 岡部　英子 様(医学部・49回生)
与儀　美由紀 様(薬学部・14回生)
【職　員】早川　大地 様 / 菊地　琢也 様
【父　母】竹森　祐介 様(医学部・63回生) / 昭和大学父兄会 様

就任のお知らせ（8月4日　理事会承認）

薬学部薬学教育学講座（教育企画・評価学部門）
担当　教授
小　林　靖　奈
前：新潟薬科大学薬学部薬効安全性学研究室　教授
採用予定：割愛日